

【設立目的】

本協会は、医療ソーシャルワーカー専門職としての資質の向上、社会的地位の確立向上を目指し、総ての人間をかけがえのない存在として尊重することを以って、保健・医療・福祉分野におけるソーシャルワークの発展に寄与することを目的とする。

【事業内容】

- ①会員の保健・医療・福祉分野におけるソーシャルワーク専門職としての資質を向上するために、各種研修会・講習会の開催及び医療ソーシャルワークの調査研究に関する事業。
- ②保健・医療・福祉分野におけるソーシャルワークの普及・啓発に関する事業。
- ③関係機関及び他団体との連絡協議に関する事業。
- ④保健・医療・福祉分野におけるソーシャルワーク機関誌及びその他刊行物の発行に関する事業。
- ⑤その他目的達成のために必要な事業活動



【沿革】

2002年 徳島県医療ソーシャルワーカー協会設立
2004年 日本医療社会福祉協会全国大会
The New Power Of Socialwork～ひろがる・つながる・わかりあえる～開催
2009年 第1回徳島県医療ソーシャルワーク学会開催
2011年 会員数100名を超える
2018年 とくしま医療センター東病院に事務局移設

【入会のご案内】

●入会資格
本協会の目的に賛同する者

●入会手続き
協会ホームページの、入会フォームより入力いただくか、入会申込用紙（協会ホームページよりダウンロード）をご記入の上、協会事務局に送付ください。



徳島県医療ソーシャルワーカー協会
Tokushima Medical Social Worker Association

【会費】

入会金：2000円
年会費：正会員 3000円
賛助会員 5000円

【事務局】

とくしま医療センター東病院
（地域医療連携室内）
〒779-0193 板野郡板野町大寺字大向北1-1
TEL:088-672-6306
FAX:088-672-4266
MAIL:515-MSW-KYOKAI@mail.hosp.go.jp



検索

徳島県医療ソーシャルワーカー協会

SINCE 2002

●医療ソーシャルワーカーとは

突然のケガや病気、長期にわたる治療や療養、高齢による問題、あるいは家庭内の事情などで、不安や悩みを抱えることがあります。

医療ソーシャルワーカーは、そうした問題に直面する相談者に、寄り添い、安心して生活を続けられる方法を一緒に考える役割を担っています。

たとえば、医療費や生活費に関する不安、退院後の生活や介護の準備、仕事への復帰、福祉制度の利用、家族間での話し合いに関するサポートなど、さまざまな課題に対応しています。個々の状況に合わせた支援を行い、適切な解決策を提案します。

医療ソーシャルワーカーは、病院や診療所、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、介護老人保健施設、など、地域のさまざまな場所で活動しています。直接的な支援だけでなく、医療機関や福祉施設、行政機関との連携を調整し、地域全体で支える仕組みづくりにも力を入れています。

生活や治療に関する不安を抱えたときは、一人で悩まず、気軽に相談することで解決の糸口を見つけられます。不安なことや悩みを共有しながら、安心して生活できる環境を整えるためのお手伝いを行っています。

●医療ソーシャルワーカーがいるところ

- ・病院や診療所の「医療福祉相談室」や「地域医療連携室」、「患者支援センター」
- ・老人保健施設や地域包括支援センター など

こんなとき 医療ソーシャルワーカーにご相談ください

医療費や生活費の支払いが心配

どんな社会保障制度が利用できるか知りたい

在宅療養する場合に、必要な支援について知りたい

転院や施設への入所を検討したい

病气やケガで仕事を続けられるか不安

物忘れが目立ち金銭管理が難しい

医療スタッフとの関係性に悩んでいる

家庭内の悩みがある

患者会・家族会のことについて知りたい

最善の方法を一緒に考えます。ご相談ください。